

2019年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:英語)

(経営学研究科 アカデミックコース)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の英文は, Jeffrey Pfeffer, *The Human Equation* (1998)からの抜粋である。これらを読んで, 設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

得点

2019年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:英語)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【引用部分は削除しています】

得点

2019 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:英語)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

設問 2. ハイテク産業の実際的なデータから, 社会通念とはちがうということがわかる
と書かれているか。日本語で具体的に説明してください。

【引用部分は削除しています】

設問 3. 下線部③を和訳しなさい。

得点

2019年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:英語)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【引用部分は削除しています】

設問4. 下線部④を和訳しなさい。

得点

2019年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:英語)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

得点

2019年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:経営学)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の3つの設問の中から選択して論じなさい。解答用紙の冒頭には選択した問題番号を付け、1問につき1枚の解答用紙に記入すること。

[1] テイラーの科学的管理法について次の4つの問いに答えなさい。

- ① なぜ自らの管理法を「科学的」と称したのか、それ以前の成行管理を念頭に入れて論じなさい。
- ② その中で提唱された「課業管理」と「賃金支払い制度」について簡単に説明しなさい。
- ③ テイラーが考案した組織構造についてライン組織と対比させて説明しなさい。
- ④ 同時代に提唱されたファヨールの管理思想との異同について論じなさい。

[2] 企業の競争優位を生み出す資源や能力に関する研究・理論について、以下の設問に答えなさい。

- (1) バーニー (Barney, Jay B.) が提唱した VRIO フレームワークの意義と内容を説明しなさい。
- (2) 組織的知識創造理論における SECI モデルについて、その内容を説明し、組織的知識創造理論の特徴を説明しなさい。

[3] バーナードの管理論は「組織論的管理論」として特徴づけられることがある。そこで、この点を念頭に入れ、彼の組織理論を概説し、それに基づく管理職能の分類を(各職能の内容にも言及しつつ)試みなさい。

得点

2019 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(経営学研究科 アカデミックコース)

(科目名:会計学)

2019年2月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の〔問題1〕および〔問題2〕に答えなさい。

〔問題1〕 「企業会計原則注解」の注1に定められている「重要性の原則」の意義および適用例について説明しなさい。

〔問題2〕 企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に定められている有価証券の会計処理について説明しなさい。

得点